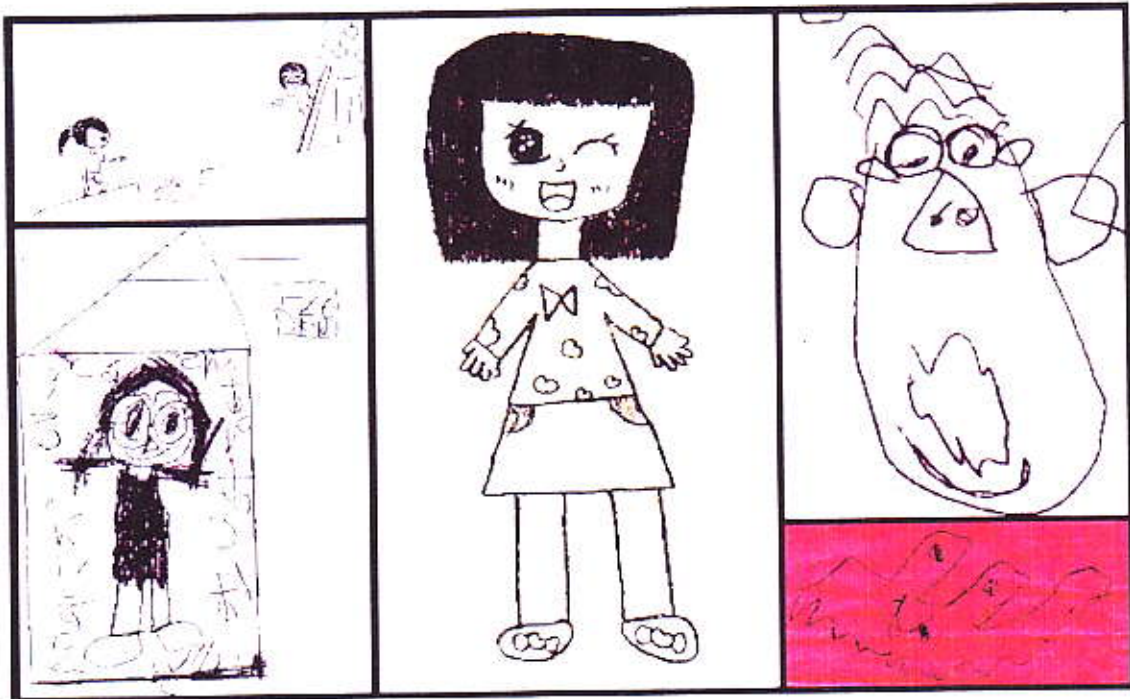


社会福祉法人 松柏児童園
理事長 新井隆司

西台こども館 第5号



児童養護施設 西台こども館
〒174-0045 東京都板橋区西台1-27-10
TEL : 03-5920-1122 Fax : 03-5945-4152
平成23年2月発行

「夢をもつ」

園長 田宮實

伊達直人、タイガーマスクを名乗って児童養護施設にランドセルを贈ることがマスコミで大きく取り上げられ、全国各地でランドセル以外に現金等様々な支援をすることがブームになった。幸か不幸か本園には一度「お金を振込むので口座番号を教えてください」という電話があっただけだった。これには丁重にどなたかわからない方からご寄付を受けるわけにはいかないと説明すると怒って電話を切られた。関係者は「大変ありがたい」とことと謝意を表明している。寄付が苦手(?)な国民性が変わってきているのかもしれない。何でもいから世の中に寄付したいという

思いの人が多くいることが証明されたと言える。ただ、児童養護施設はお金がなく、子どもたちはかわいそうで

あるといった報道ぶりはいかがかと思う。地球上のすべて子どもたちはそれぞれ様々な環境下で育っている、西台こども館の子ども達も決して特別な子どもでもなく普通の子ともである、かわいそうな子どもでもない、ただ、それまで知らなかった子どもたちと集団生活を余儀なくされている、また、それまで知らなかった大人に育てられている、様々な課題を抱えているということである。

自分自身でどうすることも出来ない理由で将来の夢を断念せざるを得ない状況を何とか打破しようとする取り組み、高校卒業の18歳の春に支援が切れてしまうこ

とへの取組が喫緊の課題となっている。

また、子どもを育てる大人の就労環境の見直しも必須である、より良く子どもを育てるためには従事者が疲れきっている状態を改善する必要がある。前近代的な雇用慣行、特に従事者の子どものためにと言う思いに頼っている現状は変えなくてはいけない。職員を孤立させない組織力をつけなければならぬ。戦後同じ措置基準のままでは現在の様々な課題を抱えた子どもたちのケアは不可能であり、より多くの職員配置、処遇改善を可能とする予算措置が必要である。

閑話休題。

昔、ユダヤ人のゴールドベルクはお金持ちになるといふ夢を抱き、毎日シナゴグ(ユダヤ教の教会)に通

い、神様に「どうか宝くじが当たりますように」とお願いしました。しかし、数十年宝くじを買い続けても外ればかりだったので、或る日神様に「神様、あなたは私を見捨てたのですね、私はもう生きる気力もなくなりました」と抗議したところ、神様答えて曰く「そんなことを言うなら、私をここから出してくれ、私は宝くじを買うことすらできないのだから」……

夢を持てることは人間の特権です。いくつになっても夢をもちたいものです。

そして出来るだけ大きな夢をもつことが大切だと言われています。すぐに結果が分かる夢(例えば今日パチンコに勝つ)ではつまらない?

「まどろい」

吉江真里子

もみじユニットは幼児さんから高校生までの子ども達が暮らすおうちです。大きい子は小さい子の面倒をよく見てくれ、子ども同士でカードや折り紙などと一緒に遊ぶこともある仲の良いユニットです。

みんなでディズニーランドや湘南の海へ遊びに行った楽しい思い出がたくさんあります。

今年には幼稚園・小学校・中学校・高等学校を卒業する子がそれぞれいて、その子らにとってはもちろん、もみじにとっても節目の年になりそうです。

これからもお互いを気にかけることができるユニットであって欲しいと思います。

「意気込み」

川口純平

こども館に就職してから一年弱経ちましたが、まだまだ出来ない面ばかりで、日々の業務に追われてなかなか子ども一人一人に寄り添うことは出来ていません。気持ちと仕事内容が一致しない毎日に日々反省です。

今後は子ども達に対する直接的な処遇の面だけでなく、児相をはじめとした関係機関との連絡・調整などの対外的な業務へも仕事の幅を広げ、より範囲の広い仕事のスキルを身に付けていきたいです。また、常に子ども達のために自分が出来るのかを考え追及し、自分自身がスキルアップしていくことで、その知識や技術を子ども達に還元出来る様に日々励んでいきたいです。

「三年たつて」

石川可奈子

桜が咲くころ、4年目を迎える西台こども館。物静かだったあの子は、元気いっぱい幼稚園最年長に、高校受験を目の前に入所したあの子は、いよいよ、このかしわで過ごす最後の年を迎えます。

喧嘩をして、悔しくて泣いたりすることもいっぱいあったけれど、誰かが学校でいいことがあった、褒められた！と勢いよく帰ってきたり、悲しいことがあったとうつぶしていたときには、一緒に喜んで、何気ないふりをして本気で心配していたり・・・。

純粹に芽生えた、思いやる、という気持ちをずっとずっと大切にしたいと思っています。

「いちちょうの大木」

のぶみち

堀欠慎吾

いちちょうユニットは、とても明るいおうちです。食卓では色々な会話が飛び交い、時には聞き取れないほど賑やかで微笑ましい時間が流れています。

また、いちちょうは思いやりのあるおうちでもあります。買い物や公園など外出する際には、迷子にならないようにと小中高生が幼児と一緒に手をつないでくれます。だからか幼児たちは、「大きくなったらお兄ちゃんお姉ちゃんたちのようになるんだ」と張り切っています。

時にはケンカもします。しかし、それも含めて明るい「いちちょう」の木のように、大きく育ってほしいと思います。

日々思いつくこと

「冬の小鳥」という韓国の映画を見ました。一九七五年、主人公九歳の女の子が児童養護施設に預けられ、絶望・怒り・孤独・不安のなか反発や抵抗を繰り返しながら、苦しみを乗り越え、やがて運命を受け入れ新たな人生を受け入れていくという内容です。

西台こども館で生活している子ども達の顔が思い浮かびます。時

代背景や制度、親御さんの状況などはずいぶんと違って

いるものの、子どもが今まで生活していた人、場所、学校、友人と離れ初めての場所で生活をしていくこととてつもない不安や孤独感、そして怒りはいかばかりか。あらためて考えさせられる内容でした。

西台こども館では入園が決まると必ず子どもに会いに行きま

す。まず自己紹介をして、西台こども館の紹介や、説明をします。その後、入園する子どもから直接好きな食べ物を教えてもらいます。入園初日には大好物の視点を迎えます。これらは大人の視点からではなく、子どもの心に寄り添い、西台こども館を受け入れてもらうための作業の第一歩と

「未来への一歩」

考えています。

家庭支援専門相談員

齋藤学

今後の人生に多大に影響する思

春期、子どもの無限の可能性を信じ自分には今なにかできるのかを考えていきたいと思います。子ども達が「今」を受け入れ、「未来」に向かう一歩として。

西台こども館には、専門職と呼ばれる職員がいます。今回は、「家庭支援専門相談員」と「心理療法担当職員」という二人の職員の思いを書いてもらいました。

整理整頓がめっちゃめっちゃ苦手。カナーリ忘れっぽい。気持ちとは逆のことをしちゃう。空気が読めない。すぐキレる。素直になれない。手や足が出ちゃう。命令口調で相手を自分の思うように動かしたくなる。勉強がすごく苦手。大人を頼りたいのに信用できない。自信がない。怒りっぽい。人が拒否されて傷つくのが何より怖い。気持ちを言葉にできなくて不機嫌になっちゃう。生きていくことに意味を感じられない。

「いっしょに考える」

心理療法担当職員

田中仁

あって一緒に考えるのが、

私たちが心理の役目。こう見えて、けっこういろいろんなアイディアを持っているんだよ。「なんだか最近楽しいな」って思えるようになったら、私たちにはそれが一番うれしいな。

苦手なことやうまくできないことはいろいろあるけど、こうなったのはあなたのせいじゃない。それはホントじゃないでね。でもこのままじゃ毎日が楽しくないと思うんだ。苦手なことがちよつとだけで

ボランティアさん 紹介

習字

ボランティアさん



とても集中して書くことができます

十二月より月二回の習字教室がはじまりました。
高木さんからご指導を受けた
中学三年の男児が、学校の書
初めでみごと「銀賞」を取り
ました。



大林's着付け倶楽部のみなさん



後姿もとても綺麗な着物です

十月三日、(株)鈴乃屋レンタル事業部の「大林's着付け倶楽部」のスタッフの皆さんが、六名の子どもたちの七五三の着付けとメイクを担当してくださいました。
おかげさまで、りっぱな七五三のお祝いとなりました。

着付け&メイク
ボランティアさん



男の子も着付けてもらいました

西台図書館に 行ってきました



西台子ども館の各リビンクに置いてある本は、毎月西台図書館の担当の方が、「子ども達はどんな本を読むかな」と、真剣に選んで頂いている本です。
いつもお世話になってい
る西台図書館へ、お話を伺っ
て来ました。



清水館長(左)と
担当の三井さん(右)

「西台図書館では、老人ホームや学校など、色々な場所に本の貸し出しをしているんですよ」と館長がにこやかに話してくれました。
また、最近はずいぶん活字離れが目立ってきており、絵本などから気に入った本を選び、何度も読むことが大事だとのことでした。
その他、絵本の読み聞かせや夏休みの工作教室など、様々な取り組みをされているとのことでした。
館長、担当の三井さんや周りの方もとてもにこやかで、とても良い雰囲気図書館でした。

10月

わくわく祭り

昨年に引き続き、今年もこども達が行っている志村第五小学校で開催される「わくわく祭り」に参加しました♪
こども館職員が出店したヨーヨーつりはとっても好評でした♪♪



行列ができ、大人気でした！



上手に釣れるかな？

あんなこと、こんなこと

今年度後半も、いろんな行事がありました。思い出も写真も、たくさん残りました。



外で食べるとおいしいね！

11月

ハイキング

天神山ハイキングにでかけました。河原や山道などを歩き、すがすがしい日を過ごすことができました。お昼ご飯には、カップラーメンを山の中で食べました。「あらかわ水の博物館」にも立ち寄りました。来年は、もっと高い山に登ろうと意気込んでいます。



水の博物館前でポーズ！

12月

クリスマス会

東京音大のボランティアさんたちが今年もクリスマスコンサートを開催してくれました♪
その後には、ひと足早いクリスマス会クイズで盛り上がり、最後には、理事長からのプレゼントに大興奮！な一日になりました。



クイズ大会は、大盛り上がりでした



コンサートでは、みんなが一緒に歌いました

12月

もちつき

2010年最後のイベントは恒例のもちつき大会！天候にも恵まれ、小さい子も一生懸命おもちをつき、お腹いっぱい食べました♪

ご近所の方や学習ボランティアの方、その他志村第5小学校の関口校長先生、野田先生も応援にきてくださいました！



餅つき開始です！



大人も気持ちを入れてつきました



鏡餅はユニツケにて飾りました

1月

千葉ロッテ井口選手一行来園

1月29日(土) 午後、昨シーズン日本一に輝いたプロ野球千葉ロッテの井口資仁、細谷圭、的場直樹、山田秋親、竹原直隆選手一行(愛基金事務局我妻氏同行) が来園され子どもたちとホールでバッティング、クイズ、サイン会を行いました。感激!!!



本物の野球選手の投げる球を受け、打ち返したりととても楽しんでいました

ありがとうございます！
ごございました！
寄付者紹介

- 駒林素行、立澤鮎子、日本ミート販売
- (株)朝日税理士法人、佐藤正昭、明邦
- 運輸(株)アイエムデリバリーセンター、
- (株)ルイールコーポレーション、(株)シダツ
- クス志田勤一、伊藤康治、(株)チュチュ
- アナ、(社)東京馬主協会、宇枝一
- 弥、ほっともっと、全国シャンメリ
- 協同組合、(株)メリーチョコレートカム
- パニー、日本鏡餅組合、アディタス(株)
- (株)ヴァリオス エンタテイメント、ク
- ラブ・デ・トラント、安井豊海、佐藤
- 勝也、宮嶋宏幸、新井隆司、りそな銀
- 行池袋支店、ハッピーママ、ショウワ
- ノート、コンサートホール成増店、
- セカンド・ハーベスト・ジャパン、愛
- 基金(代表千葉ロッテ井口選手、我妻
- 照男)、(株)カレイドスコープ、バ
- ティスリーイエズミ

(敬称略、順不同)



もみじのしょうかい

今回の「ユニット紹介」は「もみじ」です。もみじでの行事、生活を紹介します。



もみじでは、4歳から18歳の子どもたち、4人のおとなで生活をしています。幼稚園生から高校生までいるため、生活も時間がずれてしまうことが多いです。そのため夕食はなるべくみんなと一緒に「いただきます」ができるようにしています。

雛祭り、節分、クリスマスなどの行事の時にはみんなで楽しんで過ごすことができるようにと、もみじのおとなは考えています。特に誕生会では、みんなで部屋の飾り付けをし、食事を作ってお祝いをしています。出来るときはケーキなども手作りしています。



江の島へ行ってきました。初めてイルカショーを見た子、海で遊いでしまった子など、子どもたちはさまざまな反応でしたが、大人が一番楽しんでいたかも知れません…とても楽しいお出かけになりました。

今年の3月には、西台こども館でも初めての卒園生がもみじから美容師を目指して旅立ちます。とても頑張り屋の女の子なので、がんばりすぎないように、いつでもこども館に立寄るようにと話をしています。自立しても、決して一人じゃない。

